

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S43	施策名	協働事業の拡大(地域組織への委託、事業主体の確認、市民、市行政、大学、民間の連携拡大)
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1「やってみよう」でつながるまち
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市地域協働計画、長久手市大学連携推進ビジョン4U、リモテラス公益施設(仮称)整備基本計画
施策開始の背景、経緯等		市民主体のまちづくりの実現に向けて、市民や市内大学との協働を進めている

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) (1)地域組織への委託、事業主体の確認 (2)市民、市行政、大学、民間の連携拡大
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民全般
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民がまちづくりに関わることで、自ら地域の課題に目を向け、自分たちで地域の課題解決を図ることを目指す

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	地域組織への委託、事業主体の確認					
		R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
		協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大	協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大	協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大	協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大	協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大	
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
		協働補助金及びNPO補助金	561千円	協働補助金及びNPO補助金	1,050千円	協働補助金及びNPO補助金	1,050千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
		(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	市民、市行政、大学、民間の連携拡大					
		R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
		リモテラス公益施設の運用	リモテラス公益施設の運用	リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理	リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理	リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理	
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
		リモテラス公益施設指定管理料	23,000千円	リモテラス公益施設指定管理料	23,000千円	リモテラス指定管理料	39,000千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
		(延べ) 1,448 人	(延べ) 1,570 人	(延べ) 1,690 人	(延べ) 1,810 人	(延べ) 1,980 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) (1)補助採択団体の内、いくつかの団体は、まちづくり協議会と連携することで、地域で既に活動している団体を巻き込み、事業を実施することができた。 (2)開館から2年を経過し、持続的な活動等として、国際交流協会による集いの広場やオープン日本語教室などを展開するとともに、活動コーディネーターによる利用者MTIによって、市民ニーズを引き出しを行い、新たな施設の利活用者(担い手)を発掘しながら指定管理者及びリモテラス運営協議会による市民参加型イベントを行った。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) (1)市が市民団体と協働した内容について、予めテーマを設け、それに応じて協働してもらえらる団体を募集する「テーマ募集」を始めた。今後も各課に当施策のメリット及び実績を周知し、市民団体と協働することで解決する仕組みを作っていく。 (2)施設の設えからどういった利用がなされるのかが想像が付きづらいこと及び入館に対してハードルが高く感じるとの意見もあった。コロナ禍も明けたことから、大々的なPRイベント等も実施することが可能となったことから、今後は隣接する長久手中央2号公園との一体型の施設利用が増加する可能性があるため、改善傾向になることが想定される。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) (1)コロナ禍を脱却し、地域活動が活性化の中で、新たな市民活動を始めるきっかけ作りを提供できる制度となっている。 (2)開館から2年が経過し、活動コーディネーターによる利活用者の発掘も活性化して、活動主体を取り込めるような動きが出てきている。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) (1)本来、市が手がけるべき事業について、補助金を活用し市民と協働することで、市職員の負担を軽減し、その時間を他の業務に充てることができる。 (2)各テーマを主要とした交流イベントや日常的な市民活動を見たり、活動体験を通じて、新たな活動主体が生まれる機運が醸成されている。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) (1)本補助金で始まった市民活動が継続的に活動できるように、まちづくりセンターやまちづくり協議会がサポートできる体制作りを行う。 (2)今後は、意欲的なプレイヤーがより主役となるようなフィールド作りを指定管理者等と議論していくことが求められる。
----	------------	---